交通アクセス

京都工芸繊維大学 60 周年記念館 2 階セミナー室
〒606-8585　京都市左京区松ヶ崎橋上町

学内マップ

連絡先

ジュリー・ブロック : brock@kit.ac.jp
吉川 順子　　: junkoyoshikawa@kit.ac.jp
加藤 ダニエラ　　: danielakato@kit.ac.jp

研究会主催

ジュリー・ブロック	京都工芸繊維大学
加藤ダニエラ	同大学大学院
吉川順子	同大学大学院

参加研究者

伊藤玄吾	同志社大学グローバル地域文化学部　准教授
岩下武彦	中央大学文学部　名誉教授
上原麻有子	京都大学文学研究科　教授
加藤ダニエラ	京都工芸繊維大学基盤科学系　准教授
金子美都子	聖心女子大学　名誉教授
駒木敏	同志社大学　名誉教授
セシル・坂井	パリ・デイドロ大学　教授 日仏会館・フランス国立日本研究所　所長
ロマリク・ジャネル	フランス高等研究実習院　博士課程
西澤一光	新潟経営大学経営情報学部　准教授
ジュリー・ブロック	京都工芸繊維大学基盤科学系　教授
ヨアン・モロー	パリ国立高等鉱業学校　准教授
吉川順子	京都工芸繊維大学基盤科学系　准教授

京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

表紙画像
Paul Peverelly　の作品 「道を通って」より抜粋
(C)　2018 Julie Brock

フランス翻訳学学会 (SoFT)
「日仏翻訳学研究」第 3 回研究会

「通態性」としての翻訳
−東西方法論学的対話−

2018 年 3 月 16 日（金）、17 日（土）
京都工芸繊維大学 60 周年記念館

3月16日（金）

日本古典文学に見られる通態性

09：00～12：30
研究会『『万葉集』の和歌の技法と通態性」
司会：西澤一光

09：00　挨拶　ジュリー・ブロック
09：20　導入　西澤一光
09：30　続「天離る夷」―方法としての枕詞―　岩下武彦
10：20　議論
10：50　休憩 20分
11：10　序歌形式の構造―物と心の共鳴―　駒木敏
12：00　議論
12：30　昼食

13：30～18：30
研究会「詩にみられる自然の解釈と文化の受容」
司会：駒木敏

13：30　導入　駒木敏
13：40　詩作の原動力として働く通態性 ―「見ゆ」を含む柿本人麻呂の和歌二首を例に　ジュリー・ブロック
14：30　議論
15：00　休憩 20分
15：20　17世紀における契沖解釈学の確立の意義をめぐって　西澤一光
16：10　議論
16：40　休憩 20分
17：00　俳句仏語訳における通態性 ―ポール＝ルイ・クーシューの翻訳を例に　金子美都子
17：50　議論
18：20　総括　岩下武彦
18：30　終了

3月17日（土）

風土学と翻訳の問題

09：00～12：30
研究会「哲学における風土学と翻訳」
司会：吉川順子

09：00　挨拶　ジュリー・ブロック
09：20　導入　吉川淳子
09：30　他者から自己へ～詩の翻訳についての考察　ロマリク・ジャネル
10：20　議論
10：50　休憩 20分
11：10　モノローグとしての翻訳　上原麻有子
12：00　議論
12：30　昼食

13：30～18：10
研究会「異なる「風土」を翻訳する」
司会：加藤ダニエラ

13：30　導入　加藤ダニエラ
13：40　言語の歴史性をいかに翻訳するか ―フランス・ルネサンス期テクストの日本語訳を例に　伊藤玄吾
14：30　議論
15：00　休憩 15分
15：15　日本現代文学と翻訳の地平線―条件と新しい動向　セシル坂井
16：05　議論
16：35　休憩 15分
16：50　風土的な観点から見た通態性と翻訳 ヨアン・モロー
17：40　議論
18：10　終了

※各発表に 50分（25分ごとにフランス語、日本語の両言語を使用する）、議論に 30分、合計 80分要する。

概要

19世紀以来、「科学性」を目指した文学研究は、読者の立場を軽視し、「客観的」な読解というものを目指してきた。しかし文学は、読む主体の存在がなければ成り立たないものである。本研究会では、オーギュスタン・ベルクの風土学的思想――人間と、それが生きる風土との相互作用を探求する――を出発点に、文学研究における読者の位相に注目する。文学の受容とは、単に読者が作品の内容を解読するということではない。読者は読む行為の中で、テキストから作用する刺激に反応し、作品に対し問いかけを行い、作品の返答を受け取る。こうした相互作用、ベルクのいう「通態性」の中で受容が行われるのである。こうした受容の問題は、まさに翻訳という場において、可視化されて現れる。翻訳テクストは、作品と読者との「通い合い」の跡を示すものなのである。本研究会では、「通態性」としての翻訳を問うことで、翻訳学研究、ひいては文学研究一般に、新たな視座を提供することが目指される。

SoFT
Société Française de Traductologie
Université de Paris Ouest-Nanterre-La Défense